

施策 2 心のふれあう生涯学習社会を振興する³⁰

1 生涯学習分野の点検・評価について

(1) 第 4 次生涯学習推進計画の実施状況

中央教育審議会答申「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」（平成 20 年 2 月）及び国の教育振興基本計画（平成 20 年 7 月）などを踏まえ、知の循環型社会の構築、協力の強化による社会全体の教育力の向上等を掲げる国の動きを踏まえ、平成 23 年 3 月に「第 4 次千葉市生涯学習推進計画」を策定し、「一人ひとりの市民の持つ知識や経験」が生きる地域づくりを進めています。

(2) 点検・評価の方針

第 4 次千葉市生涯学習推進計画の中心を担うのは、公民館、図書館、生涯学習センター、科学館等の学習支援施設で行われる事業であり、計画を推進するためには、各施設における着実な事業実施が不可欠となります。そのため、点検・評価に当たっては、それぞれの施設ごとに取り組み状況进行评估することとしました。

2 各施設における取組

(1) 公民館

①公民館の概要

本市の公民館は、原則として 1 中学校区に 1 館設置しており、地域拠点として「つどい・まなび・つなぐ」役割を担っています。

各公民館では、地域住民の多様化する学習ニーズに対応し、各種学習機会の提供等を行っています。

②公民館に係る各種事業

学習テーマ等	具体的な活動例
家庭教育	子育てママのおしゃべりタイム、親子ふれあい教室などの開催
少年教育	子ども工作教室、子ども料理教室などの開催
成人教育	パソコン講座、健康教室などの開催
高齢者教育	高齢者携帯電話活用術、介護予防講座などの開催
団体・グループ活動の助成（指導者養成・育成事業）	クラブ・サークル研修会、子ども会リーダー育成講習会などの開催
地域の交流事業	ふれあいコンサート、児童・生徒作品展などの開催

³⁰ 教育基本法第 3 条によれば、①国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、②その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、③その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が、生涯学習の理念とされている。

③評価と課題

各公民館では、年度事業計画に位置付けた各種事業を着実に実施した。

特に「暮らしの知識」「パソコン講習」等に代表される成人教育講座では昨年度に比べて増加が見られた。

今後は、地域の特性、地域住民のニーズ等を収集・把握しつつ、参加比率の低い 20 代～50 代の勤労世代など、幅広い層の参加を促していく。

(2) 図書館

①図書館の概要

中央図書館を中核とし、各区の地区図書館 6 館と 6 分館、1 分室、移動図書館車 1 台 27 ステーション、さらに 21 の公民館図書室により市内全域に図書館サービスを提供しています。

さらに、全ての図書館・公民館図書室は、オンラインで結ばれ館内の端末機（OPAC）で資料の検索や予約できるほか、自宅のパソコンや携帯電話からもインターネットを通じ同じサービスを利用可能としています。

また、子ども読書活動推進計画（第 2 次）に基づき、子どもが読書に親しむ機会の充実を、学校等とも協力しながら進めています。

②図書館に係る各種事業

	学習テーマ等	具体的な活動例
生涯学習の推進	学習事業を生かした地域活動を進める	市民や学生ボランティアの協力を得て、「中高生が語るおはなし会」「外国語おはなし会」などの実施
	学校教育外で子どもの学習機会を提供する	図書館における、図書館見学や図書館の職場体験の実施
	学習活動の相談体制の整備	図書館レファレンスサービス（利用者からの質問に対し、図書館で得られる情報を基に回答や資料を提供）の充実
	学習支援施設の連携推進	学習支援施設間の連携協力による学習事業の実施
子ども読書活動の推進	家庭における取組への支援	ファミリーブックタイム運動（親が子に読み聞かせをしたり、家族で読書に親しむ時間をつくるよう呼び掛ける運動）の推進 子ども読書活動推進トークショーの開催
	地域における取組への支援	ボランティア等との連携による、おはなし会の実施 各地区図書館への YA コーナーの新設 読み聞かせ講座の実施
	学校における取組への支援	団体貸出用資料の充実 図書館職員の小学校訪問による利用案内とおはなし会の実施

③評価と課題

子ども読書活動推進計画（第2次）に基づき各種事業等を着実に実施した。

特に、学校等への団体貸出用資料の貸出冊数及び、子ども読書まつりの参加人数については、「中央図書館・生涯学習センター開館 10 周年記念子ども読書まつり」として規模を拡大して実施したため、参加人数が大幅増となり 23 年度目標を達成した。

今後は、さらに団体貸出用資料の充実を図るほか、市民のニーズに応え図書館利用を促進していくため、資料の充実や各事業の積極的な展開・実施を図るとともに、図書館からの積極的な情報発信や学校等との連携の充実・強化を図っていく。

(3) 生涯学習センター

①生涯学習センターの概要

生涯学習センターは、市民の学習活動を総合的に支援する中核施設として、市民の誰もが気軽に立ち寄れて、欲しい学習機会や情報に出合える場所を目指しています。

②生涯学習センターに係る各種事業

学習テーマ等	具体的な活動例
生涯学習に関する講座、講演会等の開催	「ちば」を学ぶ「ちばカレッジ」、親子や各世代を対象とした講座やニーズをとらえた講演会等、独自性、専門性を有する多くの学習機会の提供
指導者等の養成	地域で活動する人材を育成するため、ボランティア等養成研修の実施 活動機会の提供のため、ボランティアセンターの運営
生涯学習相談、生涯学習情報の提供	生涯学習情報を収集し、広く市民に提供するとともに、生涯学習センター及び他の公共施設等で学習相談の実施
生涯学習活動の支援	学習成果を発表する機会の提供や市民企画講座等の開催、パソコン講座の開催、視聴覚機材の貸出等の学習活動の支援の実施
学習活動の場の提供	市民の生涯学習活動の拠点施設として、ホール、研修室、会議室の貸出の実施

③評価と課題

地域を多角的に学習する講座、関心が高いテーマや各世代における課題にきめ細かく対応した講座等、多くの市民に学習機会を提供するとともに、ボランティア等養成や市民・団体が講座の運営に参画する取り組み等、多角的な人材育成を行った。

一方で震災の影響により、施設の利用は減少した。

今後は、千葉市の生涯学習の拠点施設として、さらなるサービス向上を図り利用の拡大に努めるとともに、より市民や地域のニーズに対応した学習機会の提供、人材育成の強化を図る。

（4）科学館

①科学館の概要

千葉市科学館は、日常の視点で科学を捉え、子どもから大人まで楽しめる参加体験型科学館です。活動を支えるスタッフやボランティアによる、人から人へのコミュニケーションを大切に「人が主役」となる施設です。ふとした日々の疑問や、何気なく見過ごしている現象を科学と結びつけて紹介し、来館者と気づきを共有することを目指しています。

②科学館に係る各種事業

事業名	具体的な活動例
展示事業	常設展示と結びつけたワークショップの実施、携帯端末を利用した「プラスサイエンス」の運用の開始、年間6回の企画展示の実施
教育普及事業	土日講座、サマースクール、クラブ講座、講演会など多種多様なイベントの実施 多くの学校団体による科学館を活用した学習の実施
プラネタリウム事業	星空解説やデジタル映像を映し出す一般投影、天文学習に対応した学習投影の実施、星空観察会などの天文事業の展開
ボランティア事業	科学館ボランティアの募集のための活動説明会、育成のための新規研修・ステップアップ研修などの開催 ボランティアによる館内外のワークショップ等での活動
先進的科学館連携推進事業	大学、研究機関、企業、市民等、多くの団体が関わった科学フェスタの開催 大学等と連携した先進的な科学講座、学校教育への支援として教員向け研修会の実施

③評価と課題

企画展、講座、講演会、プラネタリウムなど、時節や来館者層のニーズに合った内容をテーマとした事業を数多く展開し、初めての来館者やリピーター層の拡充につながった。活動を支えるボランティアに対する研修も充実してきた。

また、先進的科学館連携推進事業では、科学フェスタをはじめ先進的な取組を多く実施し、市民の科学リテラシー向上に寄与した。

震災の影響はあったものの、来館者数は昨年度とほぼ横ばいの人数を記録した。

今後は、千葉市科学都市戦略のキーステーションとしての役割を果たすため、連携先を拡充し、さらなる事業の発展を図る。また、市民のライフスタイルに科学・技術が浸透する機会を提供するため、科学フェスタを充実させる。